

# 公安委員会定例会議会議録

## 第1 開催日時

令和3年7月20日（火） 13時00分 ～ 15時10分

## 第2 出席者

成田委員長、野呂委員、横町委員

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、首席監察官、総務室長、警察学校長

## 第3 議事の概要

### 1 議題事項

なし

### 2 報告事項

#### (1) 県議会の開催状況について

警務部長から、「第306回定例会一般質問では、運転免許手続等の混雑緩和及び高齢運転者対策、県警察における県民の安全・安心を守るための取組等について、文教公安委員会では、サイバー犯罪対策及びあおり運転への適切な対応について質疑があり、本部長及び担当部長が答弁した」旨の報告があった。

#### (2) 青森県警察職員在宅勤務実施要領の制定について

警務部長から、「試行運用していた在宅勤務試行要領を本運用することとし、7月8日、青森県警察職員在宅勤務実施要領を制定した。試行からの主な変更点については、在宅勤務場所に自宅に準じる場所の追加や実施単位に1時間単位の追加等である。また、新型コロナウイルス感染症等への対応については、別途通達により、手続を簡略化し本要領を準用することとした」旨の報告があった。

委員から、「情勢に即して修正するなどし、この制度をより利用しやすいものにしていただきたい」旨の発言があった。

#### (3) 令和3年上半期における人身安全関連事案の概況について

生活安全部長から、「本年上半期のストーカー事案は総数126件で前年同期比プラス18件、検挙は15件でプラス3件、DV事案は総数208件でマイナス7件、検挙は14件でマイナス11件、恋愛トラブルは総数389件でマイナス24件、検挙は8件でマイナス7件、児童虐待は総数268件でマイナス12件、通告は349人でプラス3人、行方不明事案は総数254件でマイナス17件、前兆事案は総数266件でプラス26件であった」旨の報告があった。

#### (4) 令和3年上半期の交通事故発生状況と過去5年間の下半期の特徴について

交通部長から、「本年上半期の交通事故発生状況は、発生件数が前年同期比プラス20件、負傷者がマイナス2人、死者数がプラス1人であり、死亡事故の特徴としては、高齢者の死者が9人で、全死者の75.0%を占める等が挙げられる。また、過去5年間の下半期の死亡・重傷者の特徴は、7月以降月を追うごとに夜間の交通事故が増える傾向にあるほか、状態別では歩行者が最も多いこと等が挙げられ、横断歩行者妨害の交通取締り等の見せる交通活動の強化、反

射材を活用した広報活動による歩行者安全対策等を推進する」旨の報告があった。

委員から、「高齢者の割合が高いことを踏まえると、高齢者に対する指導、教養を強化する必要があると感じる」旨の発言があった。

《決裁等》

- 警察署協議会委員の委嘱について
- ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令の実施について
- ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施状況について
- 警察航空機の非稼働時における援助に関する協定締結の手続きについて
- 警察職員等の援助要求の取下げについて
- 運転免許の行政処分に係る意見の聴取結果等について

以 上